データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日:令和6年03月29日

リゾートトラスト健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	57857
組合名称	リゾートトラスト健康保険組合
形態	単一
業種	宿泊業、飲食サービス業

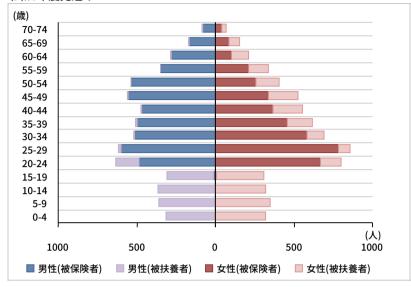
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	9,290名 男性53% (平均年齢42.5歳)* 女性47% (平均年齢37.3歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	13,714名	-名	-名
適用事業所数	5ヵ所	-カ所	-ヵ所
対象となる拠点 数	7ヵ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	9.794‰	-%0	-%0

		健康保険組	l合と事業主側の	の医療専門	能			
		令和6年度	見込み	令和7年度	見込み	令和8年度見込み		
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-	
连体祖口	保健師等	0	0	-	-	-	-	
事業主	産業医	0	32	-	-	-	-	
尹未土	保健師等	0	1	-	-	-	-	

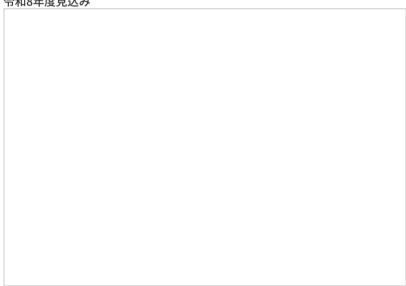
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率	全体		3,169 / 4,057 = 78.1 %
(特定健康診査実施者数÷	被保険者		3,027 / 3,247 = 93.2 %
特定健康診査対象者数)	被扶養者		142 / 810 = 17.5 %
特定保健指導実施率	全体		146 / 632 = 23.1 %
(特定保健指導実施者数÷	被保険者		146 / 622 = 23.5 %
特定保健指導対象者数)	被扶養者		0 / 10 = 0.0 %

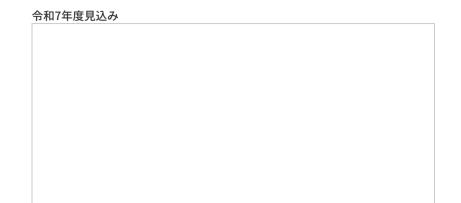
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
			被保険者一人 当たり金額(円)		被保険者一人 当たり金額(円)		被保険者一人 当たり金額(円)
	特定健康診査事業費	68,734	7,399	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	19,070	2,053	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	12,000	1,292	-	-	-	-
	疾病予防費	57,967	6,240	-	-	-	-
保健事業費	体育奨励費	406	44	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 ···a	158,177	17,027	0	-	0	-
	経常支出合計 ···b	4,217,593	453,993	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	3.75		-		-	

令和6年度見込み



令和8年度見込み





男性(被保険者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年	令和8年度見込み			
0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人	
10~14	0人	15~19	10人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人	
20~24	487人	25~29	600人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人	
30~34	514人	35~39	499人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人	
40~44	466人	45~49	557人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人	
50~54	537人	55~59	349人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人	
60~64	278人	65~69	164人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人	
70~74	82人			70~74	-人			70~74	-人			

女性 (被保険者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年	度見込み		
0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	0人	15~19	6人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	667人	25~29	782人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	584人	35~39	457人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	367人	45~49	336人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	258人	55~59	210人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	101人	65~69	83人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	42人			70~74	-人			70~74	-人		

男性 (被扶養者)

令和6年	度見込み			令和7年/	度見込み			令和8年	令和8年度見込み			
0~4	314人	5~9	360人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人	
10~14	367人	15~19	297人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人	
20~24	151人	25~29	20人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人	
30~34	6人	35~39	11人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人	
40~44	7人	45~49	3人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人	
50~54	2人	55~59	2人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人	
60~64	4人	65~69	4人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人	
70~74	3人			70~74	-人			70~74	-人			

女性 (被扶養者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年度見込み			
0~4	318人	5~9	349人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	319人	15~19	305人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	132人	25~29	72人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	108人	35~39	158人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	191人	45~49	190人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	151人	55~59	124人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	107人	65~69	70人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	31人			70~74	-人			70~74	-人		

基本情報から見える特徴

経常支出合計に占める保健事業費割合が3.75%と低い。組合設立年である2018年の5.73%から毎年下がり続けている。加入者の増加や医療費支出の増加による経 常支出増に比例した形で保健事業費の増加を行うことができていない。

STEP1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・母体企業のリゾートトラスト株式会社を中心に構成するリゾートトラストグループでは医療法人を内包し、健診機関は当健保加入者やその家族にも利用を推奨しており、あわせて特定保健指導や女性の健康に関する事業展開もあることから、組合加入者における 健康への志向は高いと考えられる。
- ・特定健診・特定保健指導における被扶養者受診率の低さが課題。また特定保健指導事業については、被保険者の対象者に対する、事業所や担当者による必要性の周知不足や理解度に差異(ばらつき)が生じている可能性がある。
- ・インフルエンザ予防接種事業に対しては事業所協力や加入者意識の高さから、予算も含め保健事業として規模が大きい一方で、禁煙事業に対する加入者等の取組み意欲は年々減退している可能性がある。
- ・機関誌の発行による情報提供や健保ホームページ等の改良、その他地道な広報活動を展開する中、健康ポータルサイトを2023年導入以降はより効果的な情報配信ができるようになり、ウォーキングイベント等の参加型の保健事業も実施できている。

事業の一覧

チボツ 元	
職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関紙発行
保健指導宣伝	重症化予防受診勧奨通知発行
保健指導宣伝	ジェネリック薬利用促進通知発行
保健指導宣伝	ポリファーマシー対策通知発行
保健指導宣伝	健康ポータルサイトPep Up活用
保健指導宣伝	歯科受診勧奨
個別の事業	
特定健康診査事業	健康診断補助
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	禁煙プログラム
疾病予防	生活習慣病重症化予防プログラム
疾病予防	人間ドック
疾病予防	婦人科検診
体育奨励	ウォーキングラリー
事業主の取組	
1	ストレスチェック実施

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予	注1) 事業 事業名 分類			対象	と者				振り返り			
算科目		事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因		注2) 評価
	環境の											
加入	首への	意識づけ				0						
保健指導宣伝	2,5	機関紙発行	健康情報の発信を行い、加入者に適切な社会保険制度や医療制度の知識、健康保険組合の事業について等を啓発する	全て	男女	~ (上限なし)		4,951			-	-
	4		健診結果データ、レセデータを分析し通知対象者を絞り込み、生活習 慣病の重症化を予防するための効果的な通知発行を行う。	全て	男女	35 ~ 74	基準該当者	60	-		-	-
		ジェネリック 薬利用促進通 知発行	レセデータを分析し通知対象者を絞り込み、効果的な通知発行を行う 。	全て	男女	0~(上限なし)	基準該当者	240	-			-
	2	ポリファーマ シー対策通知 発行	ポリファーマシー(多剤、禁忌等の薬の有害事象)について、レセプト情報をもとに実績の上がった対象者へ通知し、正しい医療との向き合い方を啓発する。	全て	男女	0~(上限なし)	基準該当者	306	-		-	-
	2,3,4,	健康ポータル サイトPep Up 活用	健康ポータルサイトPep Upにおける情報発信や、加入者と健保組合とのコミュニケーションをもとにより質の高い情報提供や補助事業の推進につなぐ。	全て	男女	18~ (上限なし)	加入者全員	5,064	-		-	
	ŕ	歯科受診勧奨	歯科受診を促すための情報発信を行い、歯科に関する加入者の意識を 高める	全て	男女	0~(上限なし)	加入者全員	100	-			-
問特定健康診査事業	の事業 3	()	健康診断を実施し加入者の健康保持を促す。安衛法に基づき事業主と 共同で実施。	全て	男女	35~(上限なし)		68,374	_		-	-

予	注1)				対象	者			振り返り		
予算科目	事業分類	事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年 対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価
特定保健指導事業	4	特定保健指導	特定保健指導対象者に対し生活改善を促すことで生活習慣病患者への 流入(発症)、重症化リスクを下げる	全て	男女	35 ~ (上限なし)	í 19,070	-	-	-	-
疾病予防	8		冬季感染症罹患者数の減少のための対策としてインフルエンザワクチン接種への費用補助を行う	全て	男女	0 ~ (上加入者限 全員なし)	[†] 39,600		-	-	-
	5	禁煙プログラ ム	加入者のうち喫煙者に対し、禁煙補助剤の処方と健康指導を促すプロ グラムによって禁煙(卒煙)に至るまでを伴走する。	全て	男女	20 ~ (上限なし)	í 1,518		-	-	-
	4,6		健診結果およびレセデータをもとに、生活習慣病により通院中の加入 者に向けた健康指導を行い、生活習慣病の重症化に伴う病気の発症(脳血管疾患や心疾患等)のリスクを下げられるよう伴走する。	全て	男女	35 ~ (上 加入者 限 全員 なし)	ć 6,000	<u>.</u>	-	-	-
	3		健診に代えて人間ドックの受診を促し、もってより多くの病気リスク の早期発見に繋げる	全て	男女	35 ~ (上 加入者 を員なし)	5,297			-	-
	3	婦人科検診	乳がんと子宮頸がんの2つの婦人科検診に補助を行い、女性の健康の 保持増進に資する	全て	男女	20 ~ (上加入権 全員なし)	ź 2,816	-		-	-
体育奨励	2,5		ウォーキングを奨励し、加入者同士での交流機会を設けたり歩数を競 い合ったりできる環境を整備し、健康保持に資する。	全て	男女	0 ~ (上 加入者限なし)		<u>-</u>	-	-	-

予 注1)		対象者			振り返り		
算 事業 事業名 科 分類	事業目標	対象 性別 年 対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価

注1) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注2) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%

		対象	と者			振り返り		- 共同
事業名	事業の目的および概要		性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	実施
事業主の取組								
ストレスチェック 実施	安衛法に基づき実施。	被保険者	男女	18~ (上限なし)			-	-

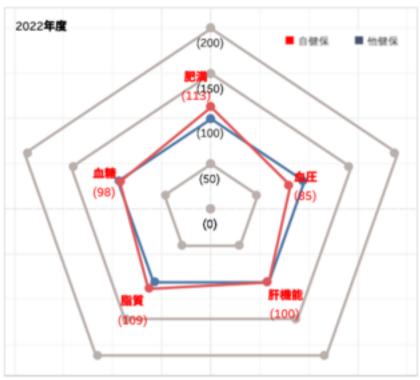
STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア	### 1997 1997	健康状況レーダーチャート	健康リスク分析	血圧の値が悪い
7	1	生活習慣レーダーチャート	健康リスク分析	食事についてのスコアが悪い
ウ		適正な食事習慣を有する者の割合推移	健康リスク分析	2022年度において食事習慣が適切である比率は他健保(世間一般)のスコア70%と比較し53%と大きく差があり、年々悪化している
I		2021-2022総医療費	医療費・患者数分析	総医療費が増加している。全ての年代、全ての加入者種別(性別、被保険者、被扶養者)において増加している。
オ	### CTU - CT	2022加入者構成	加入者構成の分析	20代女性の被保険者が多くを占めている。
カ	### 15 15 15 15 15 15 15 1	2022健診受診率_40歳以上被保険者通年在籍	特定健診分析	年齢が高くなるにつれて受診率が微減していき、被保険者全体での受診率 を押し下げている

‡	STATE STAT	2022健診受診率_40歳以上被扶養者通年在籍	特定健診分析	被扶養者の全ての年代において2割前後の受診率にとどまっている。
D		後発医薬品数量割合推移	後発医薬品分析	他健保に比して低い
ケ	1	レセプト種別毎医療費構成割合		医療費構成割合は他健保に比して入院・通院に係る医療費の割合が2022年 度において高い
	STATE Column Co	健診受診率	特定健診分析	
U	The content of the	特定保健指導対象者割合	特定保健指導分析	
シ	### 1975 #### 1975 ####################################	健康マップ	健康リスク分析	

健康状況



		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	113	85	100	109	98
自健保	非リスク者数	2,021	1,839	2,153	2,625	2,100
	リスク者数	1,251	1,433	1,118	646	1,171
	リスク者割合	38.2%	43.8%	34.2%	19.7%	35.8%
他健保	リスク者割合	43.2%	37.1%	34.3%	21.6%	34.9%

-: スコア算出不能な項目(グラフは非表示)スコアが200を超える項目は、グラフ上は一律200として表示

事業所名

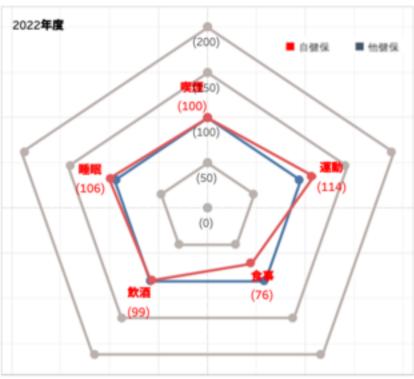
00000000000: 自健保全体

リスク者割合= リスク者の判定基準^{※1}該当者人数 当該検査項目実施者数 ペコア= 他健保のリスク者割合 自健保のリスク者割合

※1 リスク者の判定基準 (保健指導判定基準)

- ■肥満(内臓脂肪型肥満のリスク者) BMI25以上、または腹囲85cm(男性)・90cm(女性)以上
- ■血圧(高血圧のリスク者) 収縮期130mmHg以上、または拡張期85mmHg以上
- ■肝機能(肝機能異常症のリスク者) AST31以上、またはALT31以上、またはγ-GT51以上
- ■脂質(脂質異常症のリスク者) 中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ■血糖(糖尿病のリスク者) 空腹時血糖値100mg/dl以上、またはHbA1c 5.6%以上 (空腹時血糖及びHbA1cの両方を測定している場合は、空腹時血糖値を優先)

生活習慣



		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	100	114	76	99	106
自健保	非リスク者数	2,396	1,207	1,697	2,891	2,136
	リスク者数	875	2,063	1,555	378	1,131
	非リスク者割合	73.2%	36.9%	52.2%	88.4%	65.4%
他健保	非リスク者割合	73.1%	32.4%	68.7%	89.5%	61.6%

二:スコア算出不能な項目(グラフは非表示)

スコアが200を超える項目は、グラフ上は一律200として表示

事業所名

00000000000: 自健保全体

非リスク者割合= 非リスク者の判定基準^{第2}該当者人数

当該問診項目回答者数

自健保の非リスク者割合 スコア=- $- \times 100$ 他健保の非リスク者割合

※2 非リスク者の判定基準

■喫煙:問診「現在、たばこを習慣的に吸っている」に「いいえ」と回答した者

■運動:運動習慣に関する3つの問診項目³³のうち2つ以上が適切

■食事:食事習慣に関する4つの問診項目^{※4}のうち3つ以上が適切

■飲酒:「多量飲酒群」(以下①または②)に該当しない者 ①飲酒頻度が「毎日」で1日あたり飲酒量が2合以上の者 ②飲酒頻度が「時々」で1日あたり飲酒量が3合以上の者 *ただし飲酒頻度と飲酒量のいずれかのみに回答した者のうち、 飲酒頻度で「ほとんど飲まない(飲めない)」と回答した者、及び 飲酒量で「1合未満」「1~2合未満」と回答した者は非リスク者とする

■睡眠:問診「睡眠で休養が十分とれている」に「はい」と回答した者

※3 運動習慣に関する開診項目の「適切」の該当基準

- ①「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施」に「はい」と回答
- ②「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」に「はい」と回答 ③「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」に「はい」と回答

※4 食事習慣に関する開診項目の「適切」の該当基準

- ①「人と比較して食べる速度が速い」に「ふつう」または「遅い」と回答
- ②「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある」に「いいえ」と回答
- ① < 2018年度~>

「朝庭夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している」に 「時々」または「ほとんど摂取しない」と回答

- <~2017年度>
- 「夕食後に間食 (3食以外の夜食) をとることが週に3回以上ある」に「いいえ」と回答
- ③「朝食を抜くことが週に3回以上ある」に「いいえ」と回答

適正な食事習慣を有する者の割合推移

100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%6

10%

096

2020

適 īΕ

な 食

18

77

慣

を

有

す 3 客

Ø

89

合

.96

各年度内1日でも在籍:A·B·Cの全てにチェック 各年度末在籍:B・Cにチェック 各年度内継続在籍:Cにチェック



✓ 2020 ✓ 2021 ✓ 2022

良好者

他健保

2022

非良好者

自健保

加入者区分 → 被保険者

✓ 被扶養者

性別

タ 男性

年齡区分 複数の値

事業所名 すべて

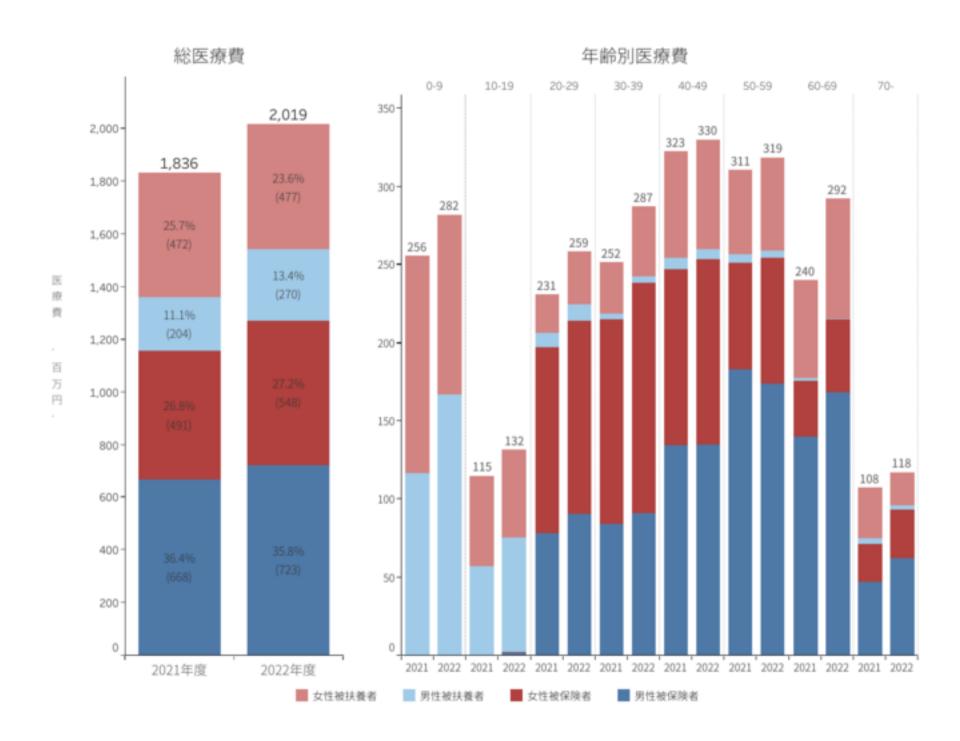
在籍状況

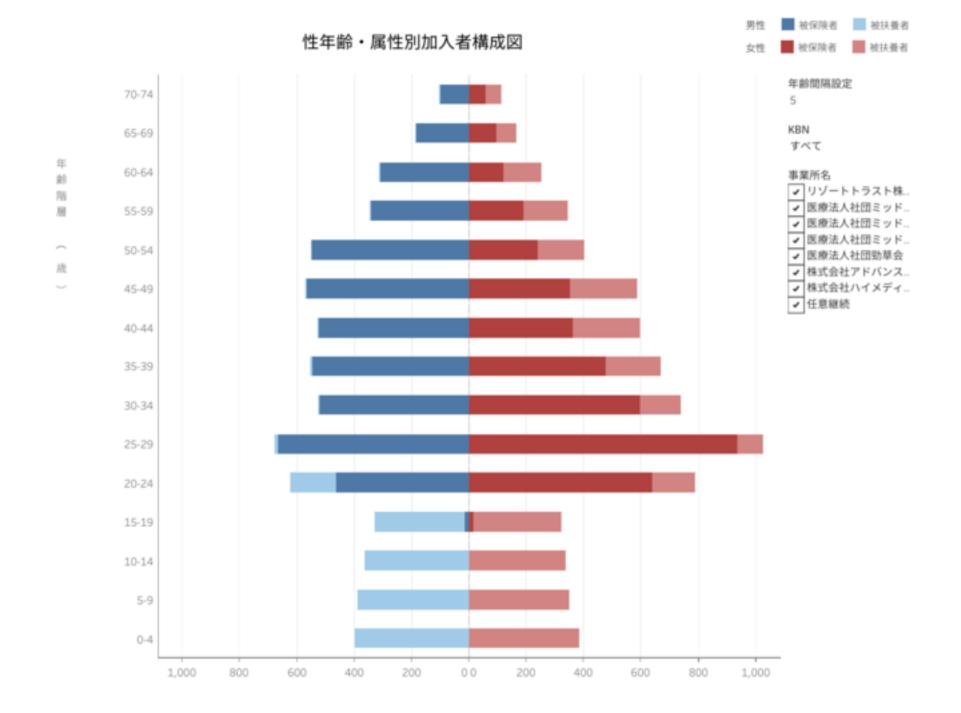
√ A B C

適正なが	と事習慣を	2020	2021	20	22
有する	者の割合	自健保	自健保	自健保	他健保
割合	非良好者	44.3%	44.8%	46.6%	29.4%
	良好者	55.7%	55.2%	53.4%	70.6%
人数	非良好者	1,388	1,501	1,583	
	良好者	1,745	1,847	1,813	

2021

2022





健診受診率(年齢別)2022年度 要给事 受診者数 94.9% 96,0%

各年度内1日でも在籍:A·B·Cの全てにチェック

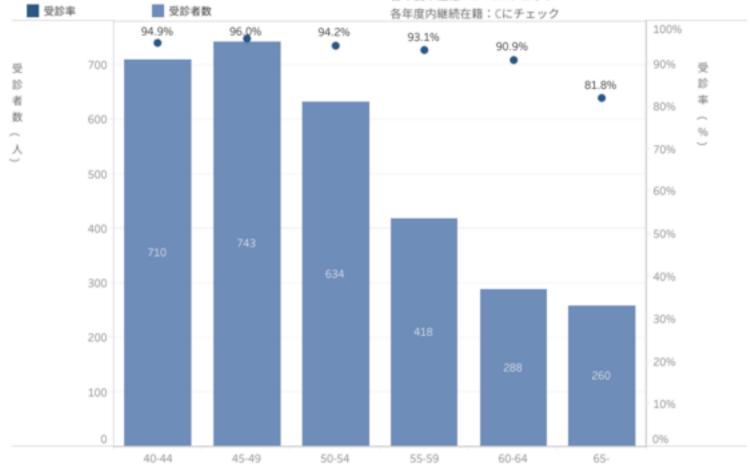
各年度末在籍:B・Cにチェック











MISSAUS WIT	年齡区分									
受診状況	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-				
受診率	94.9%	96.0%	94.2%	93.1%	90.9%	81.8%				
対象者数	748	774	673	449	317	318				
受診者数	710	743	634	418	288	260				

各年度内1日でも在籍:A·B·Cの全てにチェック

各年度末在籍:B・Cにチェック 冬年度中継続左籍:Cにチェック

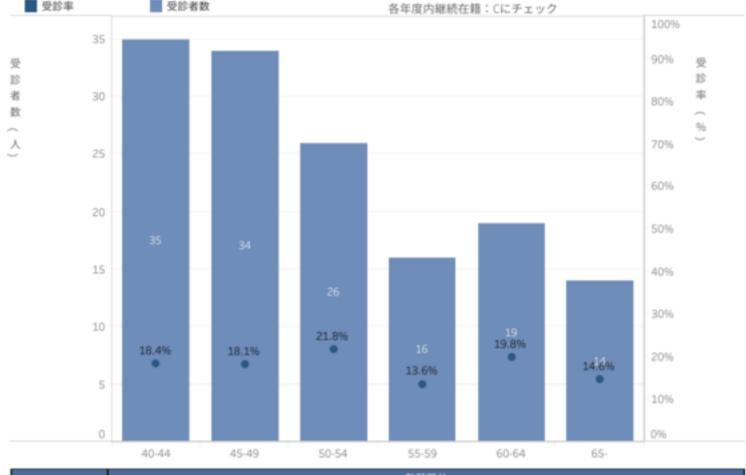




年齢区分 複数の値

事業所名 すべて





MINAGE IN	年齡区分									
受診状況	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-				
受診率	18.4%	18.1%	21.8%	13.6%	19.8%	14.6%				
対象者数	190	188	119	118	96	96				
受診者数	35	34	26	16	19	14				

後発医薬品 数量割合推移 (他健保比較) 自健保数量割合 | 他健保数量割合 2022年度 100% 数 氮 80 合 90% 80% 70% 60% 50% 40% 30% 20% 10%

9

10

11

12

1

2

※小数点第二位以下切り捨て

3

0%

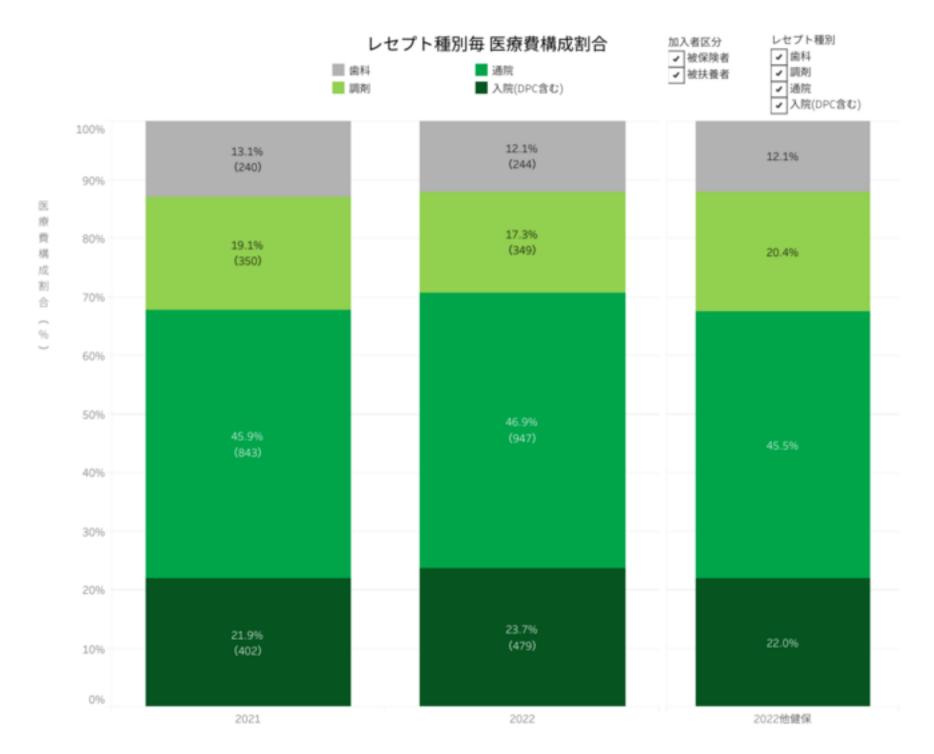
月別

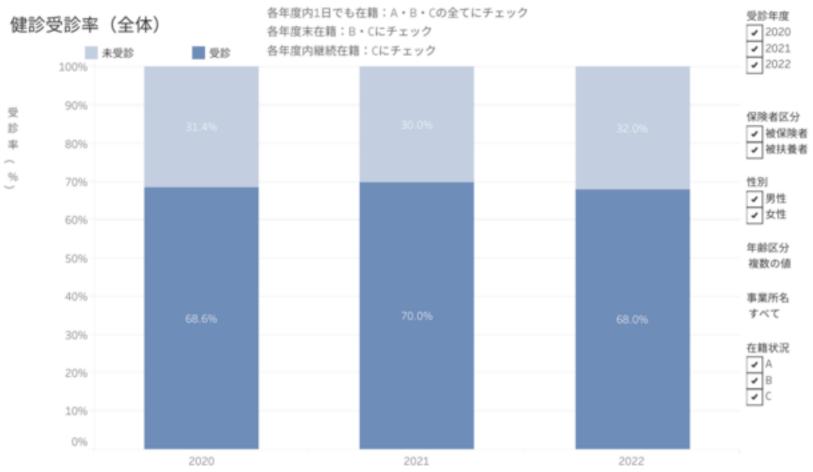
5

6

7

8



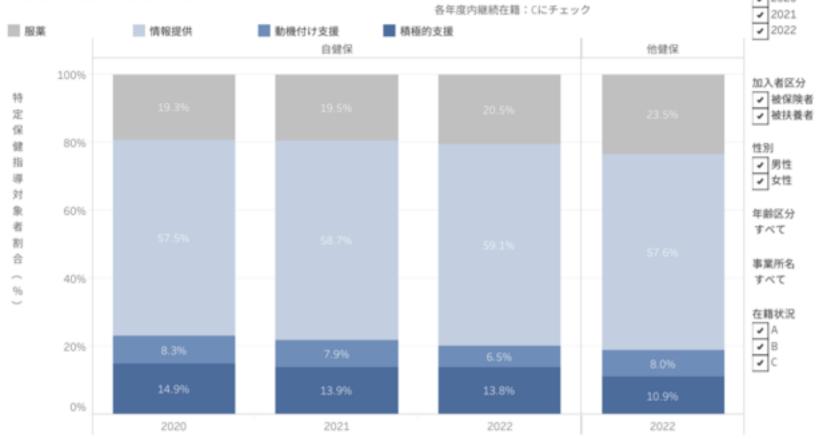


2040492D			受診年度	
受診状況		2020	2021	2022
割合	未受診	31.4%	30.0%	32.0%
	受診	68.6%	70.0%	68.0%
対象者数	未受診	1,495	1,447	1,611
	受診	3,265	3,379	3,426

特定保健指導対象者割合

各年度内1日でも在籍:A・B・Cの全てにチェック 各年度末在籍:B・Cにチェック 各年度内継続在籍:Cにチェック





保健指導レ	ベル		自健保		他體保
		2020	2021	2022	2022
割合	服業	19.3%	19.5%	20.5%	23.5%
	情報提供	57.5%	58.7%	59.1%	57.6%
	動機付け支援	8.3%	7.9%	6.5%	8.0%
	積極的支援	14.9%	13.9%	13.8%	10.9%
人数	服薬	578	638	688	
	情報提供	1,722	1,921	1,979	
	動機付け支援	250	258	219	
	積極的支援	447	453	463	

健康マップ

各年度内1日でも在籍:A・B・Cの全てにチェック 各年度末在籍:B・Cにチェック.. 加入者区分 被保険者 被扶養者

				生	活習慣病で未通り	腕		9	活習慣病で通筋		性別		
	生活習慣病 レベル		不明	正常	保健指導域	受診動更減	要治療域	通院中 (合併証無)	通院中 (合併征有)	通於中 (重集)	✓ 男性 ✓ 女性 ✓ NULL		
該当 人数	2022年	度	478人	406人	765人	832人	304人	835人	328人	23人	年齢区分 複数の値		
	2021年	旗	339人	423人	700人	856人	入808	794人	328人	25人	事業所名 すべて		
	2020年	度	367人	375人	696人	882人	325人	703人	319人	14人	在籍状況 ・A ・B		
該当割合		2	2022年度	11.6%	21.9%	23.8%	8.7%	23.9%	9.4%	0.7%			
		2	2021年度	12.3%	20.4%	24.9%	9.0%	23.1%	9.6%	0.7%			
		2	2020年度	11.3%	21.0%	26.6%	9.8%	21.2%	9.6%	0.4%			
	他健保	2	2022年度	12.7%	21.2%	22.9%	6.096	26.8%	9.9%	0.6%			

・不明:健診を未受診等、健康状態を把握するための情報がなく、かつ生活習慣病関連の受診歴もない・正常:保健指導基準内

・保健指導域:保健指導基準に1つでも該当
 ・受診勧奨域:受診勧奨基準に1つでも該当
 ・要治療域:要治療基準に1つでも該当

・通院中(合併症無):2型糖尿病・高血圧症・脂質異常症の受診歴があり、合併症はない状態・通院中(合併症有):糖尿病性合併症・脳血管疾患・動脈疾患・虚血性心疾患の受診歴がある状態・通院中(重篤):入院を伴う四肢切断急性期・冠動脈疾患急性期・脳卒中急性期、および透析期の状態

		保健指導基準	受診動災基準	要治療基準
m	空間時血糖	100以上	110以上	126以上
鞭	HbA1c	5.6ULE	6.0以上	6.5以上
血圧	収練期血圧	130以上	140以上	160以上
圧	挖裝網血圧	85以上	90以上	100以上
_	中性脂肪	160以上	300以上	500以上
整置	LDL	120以上	140以上	180以上
7	HDL	なし	39以下	34以下

健康マップ (構成割合グラフ)

各年度内1日でも在籍:A・B・Cの全てにチェック

各年度末在籍:B・Cにチェック 各年度内継続在籍:Cにチェック



→ 2020

₹ 2021

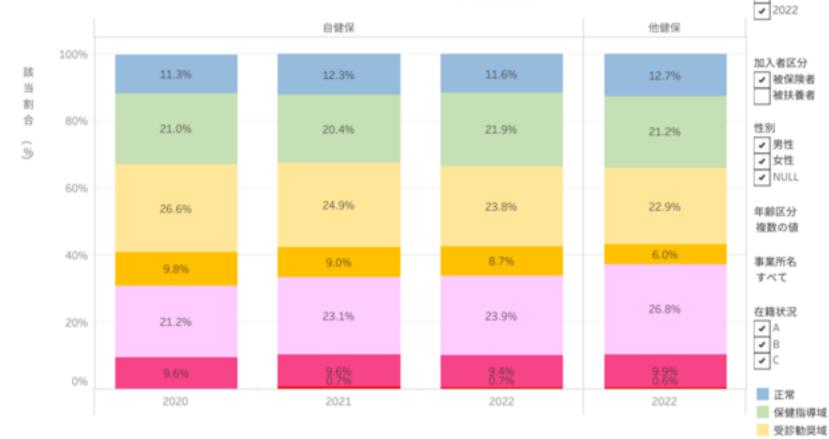


要治療域

通院中(合併症無)

通院中(合併症有)

通院中(重篤)



・不明:健診を未受診等、健康状態を把握するための情報がなく、かつ生 活習慣病間連の受診歴もない・正常:保健指導基準内

保健指導域:保健指導基準に1つでも該当 ・受診動奨域:受診勧奨基準に1つでも該当 要治療域:要治療基準に1つでも該当

・通院中(合併症無):2型糖尿病・高血圧症・脂質異常症の受診歴があ り、合併症はない状態・通院中(合併症有):糖尿病性合併症・脳血管疾 患・動脈疾患・虚血性心疾患の受診歴がある状態・通院中(重篤):入院 を伴う四肢切断急性期・冠動脈疾患急性期・脳卒中急性期、および透析期 の状態

		保健指導基準	受診動災基準	要治療基準
m	空腹時血糖	100以上	110以上	126以上
粧	HbA1c	5.633 <u>F</u>	6.0以上	6.513L <u>L</u>
m	収練期血圧	130以上	140以上	160以上
圧	拡張網血圧	85以上	90以上	100以上
	中性脂肪	160以上	300以上	500以上
整督	LDL	120以上	140以上	180以上
1^[HDL	なし	39以下	34以下

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	血圧リスクが高いことによる心疾患、脳血管疾患の病気リスクが高い状態で あると言える	>	血圧リスクが高いことについての周知と、該当者への医療機関受診や服薬指導等の勧奨、血圧を下げるための健康指導事業による個別アプローチや広く知識啓発を行っていく	~
2	キ,コ	被扶養者の健診受診率が伸び悩み、潜在的な病気リスク者に対する事業ができていない	>	被扶養者の健診受診について、様々な角度から周知啓発を行っていく。 受診のしやすさ向上を目的に、健診機関の増加など委託業者との交渉を 重ねる。	
3	コ	健診受診率が低い	>	健診受診率を他健保並みに向上させ目標として90%を目指す	
4	サ	特定保健指導実施率が低い	→	他健保並みの実施率を目指す	
5	シ,ス	要治療者が他健保に比して高い	>	服薬中の対象者を高めつつ、全体として要治療者を減らせるよう保健事 業を実施する	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
	五 若年の加入者が多く、とりわけ女性の若年加入者が多いこと	>	40歳以上の年齢に限らない、全年齢を対象とした健康保持増進のための保健事業を行う 必要がある

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
	歯科についての情報発信や健康指導などの医療費削減のための対策ができていない 1	→	歯科保健指導は自治体からの補助や啓発があるが、全国数十拠点に事業所・拠点を展開しているため、健保組合として会社と一体となって歯科に対する事業を展開し、同じ企業グループとして誰しもがばらつきのない歯科事業を受けられる体制を構築する必要がある

STEP3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 「高血圧」リスクが他健保に比して高い当組合にとって、高血圧対策が優先課題と認識し、高血圧により引き起こされる病気の予防に取り組む。

事業全体の目標 高血圧症にかかる医療費の低減(前年比での伸び率 0)、高血圧症の加入者数の減少や健康指導の対象者数(割合)の対前年比減少を図る。高血圧症の服薬者(割合)を減らし、血圧リスク者を減らす。

事業の一覧

職場環境の整備	
予算措置なし	事業所との定例協議開催
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	生活習慣病受診勧奨通知発行
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品推奨通知発行
保健指導宣伝	ポリファーマシー通知発行
保健指導宣伝	被扶養者健診勧奨通知発行
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診受診促進
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	Pep Up登録促進
疾病予防	生活習慣病重症化予防プログラム
疾病予防	禁煙プログラム
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	人間ドック受診勧奨
疾病予防	婦人科検診受診勧奨
体育奨励	ウォーキングラリー実施

[※]事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

注1) 新 規 事業 規		事業名		对测	象者		注2) 宝施	注3) プロセク 分類	7	実施方法	注4) ストラク	 	予算額(千円) 実施計画 Ancer Anger Ang						事業目標	健康課題との関連
類有	班 字	7×1	対象 事業	き 性別	年齢	対象者	主体	分類			チャー 分類	大地中町	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	予 未口标	医尿体をこり対注
急の整	(佳								アウ	ウトプット指標							アウト	カム指標		
1 ^馬	既 事訓	美所との定 盆議開催	全7	. 男女	0~(上限なし)	加入者全員	3	ア,イ,ケ	⁻,₩-		ア	-	定期的に情報交換し連携 体制を構築する	定期的に情報交換し連携 体制を構築する	- 定期的に情報交換し連携 体制を構築する	- 定期的に情報交換し連携 体制を構築する	- 定期的に情報交換し連携 体制を構築する	- 定期的に情報交換し連携 体制を構築する	定期的に情報交換し連携体制を構築する	該当なし(これまでの経緯 ⁴ 施する事業)
議実施	回数(【実績値】	6回	【目標値】	】令和	6年度:6	6回 令	令和7年度	₹:6回	令和8年度:6回 令	和9年度:6	6回 令和10年度:6回 令和	111年度:6回)-	- (アウトカムは設定されて)	いません)					
への意	識づり	ţ																		
,	14	舌習慣病受 动奨通知発	全7	. 男女	35~(上限なし)	基準該当者	1	1	情報 後 <i>0</i>	東診断結果とレセプト 報をもとに、健診受診 の医療機関未受診者に して受診を促す	þ	株式会社JMDCへ通知発行 を業務委託	期ごとに対象者となった	: JMDC社との連携にて、半 期ごとに対象者となった	・ JMDC社との連携にて、半	^ź JMDC社との連携にて、キ	・ JMDC社との連携にて、斗	[£] JMDC社との連携にて、半 期ごとに対象者となった	健診結果データ、レセプトデータを効果的 に分析し通知対象者を絞り込み通知発行を 行い、対象者割合を減らす。	血圧リスクが高いことによ 患、脳血管疾患の病気リス い状態であると言える 要治療者が他健保に比して
知発行 人)-	f者数(【実績値】	108人	【目標ſ	値】令	和6年度	: 100,	人 令和7	7年度:	:100人 令和8年度:	100人 令和	和9年度:100人 令和10年的	度:100人 令和11年度:1	通知対象者の受診率(【実績 0人が受診)。	績値】10% 【目標値】令	和6年度:15% 令和7年度	:15% 令和8年度:15%	令和9年度:15% 令和1	0年度:15% 令和11年度:15%)2021年度	実績に基づく(通知発送者
													100	100	100	0 10	100	100		
2 点	14	c ネリック 薬品推奨通 ě行	全7	. 男女	0~(上限な	基準該当者	1	Ź	ジニ	セプト情報をもとに、 エネリック医薬品への き換え可能な服薬歴を する組合員に対して医 品情報の啓発と置き換	þ	株式会社JMDCへ通知発行 を業務委託	JMDC社との連携にて、半 期ごとに対象者となった 組合員へ通知を送付。	期ごとに対象者となった	: JMDC社との連携にて、半 期ごとに対象者となった 組合員へ通知を送付。	⁴ JMDC社との連携にて、 ⁴ 期ごとに対象者となった 組合員へ通知を送付。	· JMDC社との連携にて、半 期ごとに対象者となった 組合員へ通知を送付。	期ごとに対象者となった	レセプトデータを効果的に分析し通知対象 者を絞り込み通知発行を行い、医療費適正 化に貢献する。	該当なし(これまでの経緯 施する事業)
					Ü				スで	を促す				添知社会老の医療悪活小 類	石/【中结估】 【日栖佑】	A和6年度:400 年四 A	D7年度・400年四 - 今和04	· 中· 400下四 仝和0左中・	400万円	5度:400万円\2021年度/-
		【実績値】							7年度:	: 500人 令和8年度:	500人 令和	和9年度:500人 令和10年度	度:500人 令和11年度:5 100	ェネリック利用促進通知実	尾施による効果額が390万円	引削減額となったため、そ <i>の</i>	実績と同程度の目標値とす	- శ	400万円 令和10年度:400万円 令和11年	F度:400万円)2021年度に
人)202	双 ポリ		\$552人		で実施。 0~(上			度の発送	7年度: 数を目 レ 有配 歴6	: 500人 令和8年度:	7		100 JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合	ェネリック利用促進通知実 100 I JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合	注施による効果額が390万円 100 1 JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合	1削減額となったため、その1 JMDC社との連携にて、値近の12か月で通知対象である服薬歴があった組合	実績と同程度の目標値とす 100 1MDC社との連携にて、値 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合	100 1MDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で	経年での実施を通じて啓発されることによ り、有害事象の悪化リスクの軽減と医療費	 カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
人)202	双 ポッシー	まにおいてに リファーマ -通知発行	全で	へ発送を	実施。 0~(上限なし)	今年度も 基準該 当者	も同程	度の発送	7年度: 数を目 レヤ を 歴 を 情幸	:500人 令和8年度:標とする。 標とする。 セプト情報をもとに、 書事象に該当する服薬 のある組合加入者への 報発信を行う	þ	株式会社JMDCへ通知発行 を業務委託	100 JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。	エネリック利用促進通知実 100 JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。 有害事象改善率(【実績値】	i JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。	1削減額となったため、その 10 10 1 JMDC社との連携にて、値 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。	実績と同程度の目標値とす 100 1 JMDC社との連携にて、値 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。	i JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。	経年での実施を通じて啓発されることによ り、有害事象の悪化リスクの軽減と医療費	該当なし(これまでの経絡 施する事業)
以202	双 ポッシー	まにおいてに リファーマ -通知発行	全で	へ発送を	実施。 0~(上限なし)	今年度も 基準該 当者	も同程	度の発送	7年度: 数を目 レヤ を 歴 を 情幸	:500人 令和8年度:標とする。 標とする。 セプト情報をもとに、 書事象に該当する服薬 のある組合加入者への 報発信を行う	þ	株式会社JMDCへ通知発行 を業務委託	100 JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。	エネリック利用促進通知実 100 100 100 100 100 100 100 10	2 MDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。 】 - 【目標値】令和6年度 季率向上を図る。 実績値】 - 【目標値】令和	1削減額となったため、その 100 100 100 100 100 100 100 10	実績と同程度の目標値とす) 100 I JMDC社との連携にて、値近の12か月で通知対象である服薬歴があった組合員へ10月ごろ通知を送付。 令和8年度:24% 令和9 年度:880,000円 令和8年	I JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。 年度:26% 令和10年度:	経年での実施を通じて啓発されることによ り、有害事象の悪化リスクの軽減と医療費 の適正化に寄与する。	該当なし(これまでの経紅施する事業) おいて21%の対象が有害事 令和11年度:1,200,000
入)202 2 本	双 ポッシー	まにおいてに リファーマ -通知発行	全で	へ発送を	実施。 0~(上限なし)	今年度も 基準該 当者	も同程	度の発送	7年度: 数を目 レヤ を 歴 を 情幸	:500人 令和8年度:標とする。 標とする。 セプト情報をもとに、 書事象に該当する服薬 のある組合加入者への 報発信を行う	þ	株式会社JMDCへ通知発行 を業務委託	100 JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。	エネリック利用促進通知実 100 1MDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。 有害事象改善率(【実績値) されたため、経年での改き 有害事象適正化効果額(【5 年度の通知実施対象を例に)する。目標値は有害事象	は JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象である服薬歴があった組合員へ10月ごろ通知を送付。 コー 【目標値】令和6年度等率向上を図る。 実績値】- 【目標値】令和 二学げ、すべての処方が適立な、 まな、 を改善率を400万円/年で設定	1別減額となったため、その 1 JMDC社との連携にて、値 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付。 : 20% 令和7年度: 22% 16年度: 800,000円 令和7 E化されると約399万円の医 でする。	実績と同程度の目標値とす 100 1 JMDC社との連携にて、値 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。 令和8年度:24% 令和9 年度:880,000円 令和8年 療費適正化となり、そのう	I JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。 年度:26% 令和10年度: 度:960,000円 令和9年度 ち前期高齢者に該当する対	経年での実施を通じて啓発されることにより、有害事象の悪化リスクの軽減と医療費の適正化に寄与する。 28% 令和11年度:30%)令和4年度事業に表現して、28% 令和10年度:1,120,000円象が75万円であり前期高齢者支援金拠出にも	該当なし(これまでの経緯 施する事業) おいて21%の対象が有害事績 令和11年度:1,200,000F
2 具在	既存 ポシー	まにおいてに リファーマ -通知発行	全1	へ発送を	を実	今年度も 基準該 当者	1 : 250	度の発送	7年度: 数を目 レヤ を 歴 を 情幸	:500人 令和8年度:標とする。 標とする。 セプト情報をもとに、 書事象に該当する服薬 のある組合加入者への 報発信を行う	þ	株式会社JMDCへ通知発行 を業務委託 和9年度:250人 令和10年度	100 JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。 ま:250人 令和11年度:2 300 9月頃時点で健診未受診(未申込み)の被扶養者を	エネリック利用促進通知実 100 100 100 100 100 100 100 10	は (I JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象である服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付。 (I 目標値】令和6年度 等率向上を図る。 実績値】- 【目標値】令和 に学げ、すべての処方が適可 な改善率を400万円/年で設定 の数・変・変・変・変・変・変・変・変・変・変・変・変・変・変・変・変・変・変・変	1別減額となったため、その 100 1 JMDC社との連携にて、直近の12か月で通知対象である服薬歴があった組合員へ10月ごろ通知を送付。 1 20% 令和7年度:22% 16年度:800,000円 令和7年にされると約399万円の医定する。 0 300 (9月頃時点で健診未受診(未申込み)の被扶養者を	実績と同程度の目標値とす 100 100 1MDC社との連携にて、値 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。 令和8年度:24% 令和9 年度:880,000円 令和8年療費適正化となり、そのう 300 9月頃時点で健診未受診 未申込み)の被扶養者を	100 I JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付 。 年度:26% 令和10年度: 度:960,000円 令和9年度 方前期高齢者に該当する対	経年での実施を通じて啓発されることにより、有害事象の悪化リスクの軽減と医療費の適正化に寄与する。 28% 令和11年度:30%)令和4年度事業に表します。 ま:1,040,000円 令和10年度:1,120,000円象が75万円であり前期高齢者支援金拠出にも	該当なし(これまでの経経施する事業) おいて21%の対象が有害事態 令和11年度:1,200,000 の影響(係数4.4倍とすれば 被扶養者の健診受診率が何
(1) 20 2	現存 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大	けっぱいてに リファーマ行 【実績値】 【実績を選加発行	全1 全	へ発送を 男 標値 男女	5 (上限なし) 6 35~(上限なし) 7 1	今年度 基当 和6年度 基当 (重)	1 : 250 / 1	度の発送	7年度日 レイ質の情報 アイロック マイロ アイロック アイロック アイロック アイロック アイロック アイロック アイロ アイロック アイロップ アイロック アイロ	: 500人 令和8年度: 標とする。 セプト情報をもとに、 書事象に該当する服み のある組合加入者への 報発信を行う : 250人 令和8年度:	ク 250人 令和 ク	株式会社JMDCへ通知発行 を業務委託 和9年度:250人 令和10年度	100 JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付。 を: 250人 令和11年度: 2 300 9月頃時点で健診未受診(未申込み)の被扶養者を 対象に通知を発送する	エネリック利用促進通知実 100 100 100 100 100 100 100 10	注施による効果額が390万円 100 100 100 100 100 100 100 10	1削減額となったため、その 100 100 1100 1100 1100 1100 1100 1100	実績と同程度の目標値とす 100 100 100 100 100 100 100 1	100 I JMDC社との連携にて、直 近の12か月で通知対象で ある服薬歴があった組合 員へ10月ごろ通知を送付。 年度:26% 令和10年度: 度:960,000円 令和9年度 ち前期高齢者に該当する対 の 300 9月頃時点で健診未受診(未申込み)の被扶養者を 対象に通知を発送する	経年での実施を通じて啓発されることにより、有害事象の悪化リスクの軽減と医療費の適正化に寄与する。 28% 令和11年度:30%)令和4年度事業に表します。 ま:1,040,000円 令和10年度:1,120,000円象が75万円であり前期高齢者支援金拠出にも	該当なし(これまでの経緯施する事業) おいて21%の対象が有害事 令和11年度:1,200,000 お影響(係数4.4倍とすれば 被扶養者の健診受診率が何、潜在的な病気リスク者に

予注	1) 新規	斤 見	= #6		対象	者		注2)	注3) 	eta terak Na	注4) ストラク	ラク 実施体制 -				類(千 円) 徳計画			-	健康課題との関連
算 事 科 分	業 類 類 存	X. 7	事業名	対象 事業所	性別	年齢		実施 主体		実施方法	チャー 分類		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	事業目標	
未	受診者へ	への受	記動奨率(【実績値	i] - 【∣	目標値】	令和6	年度:		アウトプット指標 合和7年度:100% 令和	8年度:100%	o 令和9年度:100% 令和	110年度:100% 令和11	特定健診受診率(【実績値】	- 【目標値】令和6年度	:83% 令和7年度:84.39		カム指標 3和9年度:86.9% 令和10	年度:88.2% 令和11年度:89.4%)健診実施	極率は令和4年度実績値78.1%であり
年月	度:100	00%)-												、実施人数を増やしていき	最終年度には単一健保とし	して厚労省の指針とされてい				
特																- 23,98	23,98	8 23,98	8	
定保健指導事業	既存(法定)	字 特定	2保健指導	全て	男女		1入者 全員	3 :	エ,キ,ク		ア,ウ	(株)ベネフィットワン およびグループ内医療法 人による保健指導実施	前年同様として継続	前年同様として継続	前年同様として継続	前年同様として継続	前年同様として継続	前年同様として継続	対象者の60%の実施率を目指す	特定保健指導実施率が低い
										7年度:34.6% 令和8年 て厚労省の指針とされてい			0年度:54.0% 令和11年	特定保健指導対象者割合(通じて増加率0を目標とす		↑和6年度:21.0%	F度:21.0% 令和8年度:	21.0% 令和9年度:21.0%	6 令和10年度:21.0% 令和11年度:21.0	%)対象者割合は第三期計画期間を
																-	-	-	-	
導 宣 伝	, ⁵ 存	· 字 進) Up登録仮	王(222	なし)	全員			r Pep Up登録促進を図る		は事業所の協力を仰ぐ	登録率50%を目標とする	登録率50%を目標とする					登録率50%を目標とし、様々なプロモーションを行う。	
広ば	服回数(ぎよりfl	(【実統	績値】2回 における:	【目標 年間の広	値】令和 報の回数	6年度:	3回 名	令和7年	₣度:3回	令和8年度:3回 令和	9年度:3回	令和10年度:3回 令和11	年度:3回)HPや機関紙けん	登録率(【実績値】30%	【目標値】令和6年度:359	% 令和7年度:40% 令和	和8年度:45% 令和9年度	:50% 令和10年度:55%	, 令和11年度:60%)Pep Up登録率(期末時	持点)
													3,000							
疾 病 予 防	既存 (法定)	生活により	話習慣病重 と予防プロ 5 ム	全て	男性		達該 当者	1 -	イ,エ,ク,ヶ	外部委託業者による対 者分類の上で高リスク [。] を中心として保健指導 勧奨する。	当	通じて、重症化リスク保 有者への健康指導を実施 。対象者はかかりつけ医	令和五年度を初年度として健診およびレセデータ 分析を行い、その結果に基づく対象者の健康指導を行う初年度として、事業の終了(全申込者の健康指導プログラムの完遂)まで伴走する	前年同様として継続	前年同様として継続	前年同様として継続	前年同様として継続	前年同様として継続	毎年、継続的に重症化予防事業を行い、また事業主の協力も得て、当組合の重要課題である高血圧者数(割合)の低減に向けて、外部委託による分析と健康指導を継続していく。	血圧リスクが高いことによる心疾
			数(【実績値 組み実績と			令和6年	≣度:7)	人令	和7年度:	8人 令和8年度:9人	令和9年度:1	.0人 令和10年度:10人	令和11年度:10人)PREVE	高リスク対象者割合(【実 割合を、2022年実績9.4%		年度:9.4% 令和7年度:	9.4% 令和8年度:9.4%	令和9年度:9.4% 令和1	0年度:9.4% 令和11年度:9.4%)健康マッ	プ「通院中(合併症有)」の対象者
													1,000	1,000	1,000	0 1,00	0 1,00	0 1,00		
		死 禁煙	アログラ	全て	男女		1入者 全員	1 :	エ,ク	-	ア,ウ	-	喫煙率20%を目標とする	喫煙率20%を目標とする	喫煙率20%を目標とする	喫煙率20%を目標とする	喫煙率20%を目標とする	喫煙率20%を目標とする	応募可能期間の継続的な啓発と柔軟な申込 対応を図る。応募者数年10名を目標とする 。	該当なし(これまでの経緯等で実 施する事業)
応	專者数((【実統	績値】6人	【目標	値】令和	6年度:	10人	令和7	年度:10	人 令和8年度:10人	令和9年度:1	0人 令和10年度:10人 令	介和11年度:10人)-	喫煙率(【実績値】26%	【目標値】令和6年度:269	% 令和7年度:25% 令和	和8年度:24% 令和9年 度	:23% 令和10年度:22%	令和11年度:21%)-	
													39,600	40,000	40,000	0 40,00	0 40,00	0 40,00	0	
	<		√フルエン ┡防接種	全て	男女	0~(上限なし)	1入者 全員	1 '	ታ , サ		ア,カ	-	10月〜12月の接種者や集 団接種実施事業所に対し 補助金支給する		10月〜12月の接種者や集 団接種実施事業所に対し 補助金支給する		10月〜12月の接種者や集 団接種実施事業所に対し 補助金支給する	10月〜12月の接種者や集 団接種実施事業所に対し 補助金支給する	前年同水準での接種者数または補助金額の 支給をもって、インフルエンザ罹患者数を 前年並みに抑える	該当なし(これまでの経緯等で実 施する事業)
予l 年/	方接種補 度:100	補助第	ミ施率(【実 捕助申請に	績値】1 対しての	00% 【 補助実施	目標値率	】令和6	年度:	100%	令和7年度:100% 令 和	8年度:100%	% 令和9年度:100% 令和	和10年度:100% 令和11	目標値に「未満」の基準を (アウトカムは設定されてい						
														-	•	-	-	-	-	
	2	死 人間字 診衝	引ドック受 b奨	全て	男女	35 ~ 74	2保険 者	3 '	ウ,エ,ケ, ^サ	<i>†</i> -	ア,ウ	-	プ各医療機関ならびにベ ネフィット・ワンへの委 託事業により通年で全国	リゾートトラストグループ各医療機関ならびにベネフィット・ワンへの委託事業により通年で全国の施設での受診可能な体制で行う	プ各医療機関ならびにベ ネフィット・ワンへの委 託事業により通年で全国	プ各医療機関ならびにベ ネフィット・ワンへの委 託事業により通年で全国	プ各医療機関ならびにベ ネフィット・ワンへの委 託事業により通年で全国	プ各医療機関ならびにベ ネフィット・ワンへの委 託事業により通年で全国	人間ドック受診を、生活習慣病健診と合わ せて勧奨する。	血圧リスクが高いことによる心疾 患、脳血管疾患の病気リスクが高 い状態であると言える 健診受診率が低い 被扶養者の健診受診率が伸び悩み 、潜在的な病気リスク者に対する 事業ができていない
			図(【実績値 で受診勧奨		目標値】	令和6年	度:10	0% -	令和7年度	:100% 令和8年度:1	00% 令和9	年度:100% 令和10年度:	:100% 令和11年度:100	- (アウトカムは設定されて)	いません)					
														-		-	-	-	-	
	存	死 婦 <i>人</i> 字 診権	、科検診受 加奨	全て	女性	30 者	好保険 ,被扶 者,任 継続 者	1	ウ,エ		ウ,カ	-	ため、乳がんおよび子宮	ため、乳がんおよび子宮	ため、乳がんおよび子宮	ため、乳がんおよび子宮	ため、乳がんおよび子宮	ため、乳がんおよび子宮	一定年齢以上(乳がん検診:30歳以上の偶数年齢の女性、子宮頸がん検診:20歳以上の偶数年齢の女性)の該当者にたいして受診勧奨を行う。	

予	注1) 新規			対象	者	注2) 注3)		5-24-2-1-1	注4) ストラク	ets 44- (4- ph II	-11-11-01		予算額(千円) 実施計画					体序部所以《明法
科日	分類 分類 存	事業名	対象 事業所	性別	年 対象	者主体	i プロセス な 分類	美	尾施方法	チャー 分類	実施体制	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連
								アウトプッ	ット指標							アウト	カム指標		
		施率(【実績値 段で受診勧奨			令和6年度	: 100%	令和7年度	夏:100% (全	令和8年度:100 ⁰	% 令和9年	度:100% 令和10年度:	100% 令和11年度:100	- (アウトカムは設定されてい	いません)					
体育奨励	5 既 ^{ウラ}	ウォーキング ラリー実施	全て	男女	0~(上限なし)	者 1	ア,エ,ケ			Ź		ークイベントへの参画と 健康ポータルPepUp上で	ークイベントへの参画と	ークイベントへの参画と 健康ポータルPepUp上で	ークイベントへの参画と 健康ポータルPepUp上で	ークイベントへの参画と 健康ポータルPepUp上で	ークイベントへの参画と	健保連愛知のリアルウォークイベントへの 参画と健康ポータルPepUp上でのウォーク ラリー実施により組合員の運動の奨励を図 る	
		ノー実施回数(ノアルイベン							2回 令和8年度	: 2回 令和	19年度:2回 令和10年度	:2回 令和11年度:2回)	- (アウトカムは設定されてい	いません)					

- 注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
- 注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業
- 注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他
- 注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 カ. と療機関・健診機関との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築 ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他